

# 裏路地探険

にぎわう観光街から少し足を運び

旧京街道の脇道へと進む

静かな山里には歴史の足跡が隠れていた

出石城下、谷山周辺を歩く／豊岡市出石町谷山

赤土色の庁舎と城跡に挟まれた、東へとのびる道。鯨山峠へと続く旧京街道だ。

ウナギの寝床といわれる古い町並みを残す材木地区を過ぎると、谷山川に沿って下谷地区、谷山地区へと続く。出石を歩けば四方で寺にぶつかるといわれるが、この街道沿いには皆を兼ねた経王寺がある。慶長9（1604）年、2代城主小出吉英が有子山の麓に城を移した時、主要な街道口や辻などには、戦いの時に皆の役目を果たす寺院を置いたそうだ。

石部神社を過ぎ、左に折れる細い路地に入ると茶白山古墳のあんなのどかな田園風景が広がる。緩やかな登り坂はその先にひっそり



土蔵の赤土色が町並みの基調色となっている



笠森神社の「枯れない井戸」は約150段の石段を登った境内の少し下にある



井戸



笠森とはもともと窟守（かさもり）、痲瘋（ほうそう）から守ってくれる神様として信仰された。別名「痲瘋神社」と呼ばれている。

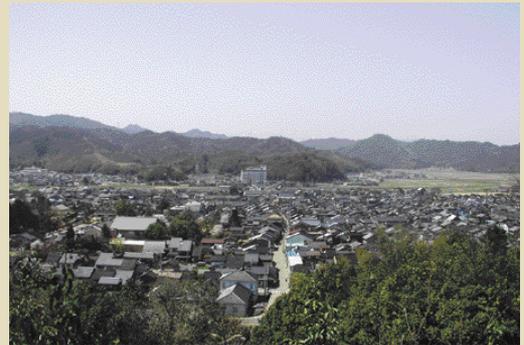


一見お城のような外観の経王寺。堀には矢狭間が見られる

化粧地蔵は町の至る所に



入佐山頂上から見下ろした出石の町並み



と佇む笠森神社へと続く。地元の人々は「笠森さん」と親しんで呼ぶ。これまで一度も枯れたことがないという井戸があり、その井戸水に触れると皮膚病などに効果があると言い伝えられている。

社中の「神徳为天」と書かれた掛け軸には出石町出身の政治家・斉藤隆夫の落款がある。国会での兩軍演説や反軍演説で後世に名を残す斉藤の書がなぜここにあるのか。その理由は書の中に記されている。

アメリカ留学中にろく膜炎をわずらい、度重なる手術を受けた斉藤は死をも覚悟したという。心配した家族や知人は霊験あらたかな笠森神社に参拝し、斉藤の病氣平癒を願った。掛け軸は、7度目の手術に成功し健康を回復した斉藤が、感謝の気持ちを込めて神に奉納したものだ。

斉藤は神仏への信仰心はなかったという。人一倍強い向学心で我が道を切り開いてきた彼だが、この時はやはり自分を支えてくれる周囲の人々の存在を強く感じたのではないだろうか。

下谷側から入佐山を登ると、緩斜で登りやすい。3、2、1号噴と

出石そば製造販売・そば製粉 今森製麺所

製造直売 全国発送

〒668-0263 兵庫県豊岡市出石町権住329

Tel. 0796-52-3816

Fax. 0796-52-6426



- 出石そば（生・半生・乾）
- 折手・仏事・ご贈答品に
- 各種麺類・そば粉販売

純生そば・自家製だし付 好評発売中!!

出石そば 作太郎

本場の味をご家庭で



人気の作太郎の出石そば、お中元どうぞ。

